

TOTO

ワンピース便器用金具

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付け、ただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表 示	意 味
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

注 意	
	強い力や衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れによる家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない 故障や水漏れの原因になります。
	必ず実行 フィルターを掃除する際は、いきなりフィルターをゆるめずに、止水栓を閉めてから行う 水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 故障や水漏れの原因になります。

2 仕様

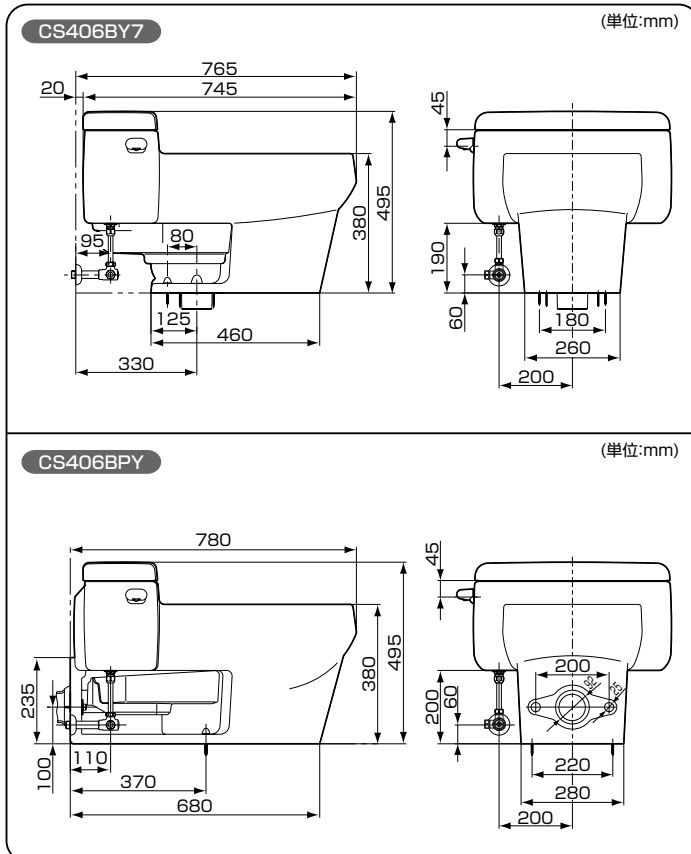
給水圧力	最低必要水圧	0.07MPa (流動圧)
	最高水圧	0.75MPa (静水圧)

3 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。快適にお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4 完成図

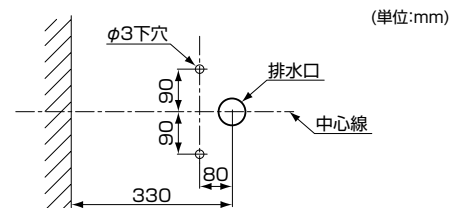
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



5 取り付け前の注意

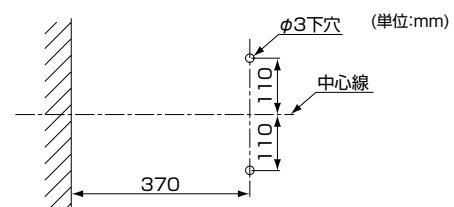
【床フランジ(CS406BY7)の場合】

- ①便器を真つすく設置するために中心線をけがく。
- ②壁から排水口センター(330mm)位置をけがく。
- ③次に排水口センターから壁側へ80mmの位置をけがく。
- ④中心線から90mmの間隔に下穴φ3をあける。
- ⑤床フランジに同梱された施工説明書に従いフランジを取り付ける。
- ⑥便器後部の化粧キャップ付き木ねじは同梱された施工説明書に従い取り付ける。



【壁フランジ(CS406BPY)の場合】

- ①便器を真つすく設置するために中心線をけがく。
- ②壁から370mmの位置をけがく。
- ③中心線から110mmの間隔に下穴φ3をあける。
- ④幅木がある場合は、陶器部に合わせカットする。
- ⑤壁フランジに同梱された施工説明書に従いフランジを取り付ける。
※その際壁面にしっかりひっつけしないとPシールがきかず水漏れするおそれがあります。
- ⑥便器前部の化粧キャップ付き木ねじは同梱された施工説明書に従い取り付ける。



裏面へつづく

重要

1 給水管内の清掃

取り付ける前に**必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

2-1 タンクと止水栓の接続

①※テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順に入れる。

注意

テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順番・向きを間違えないでください。

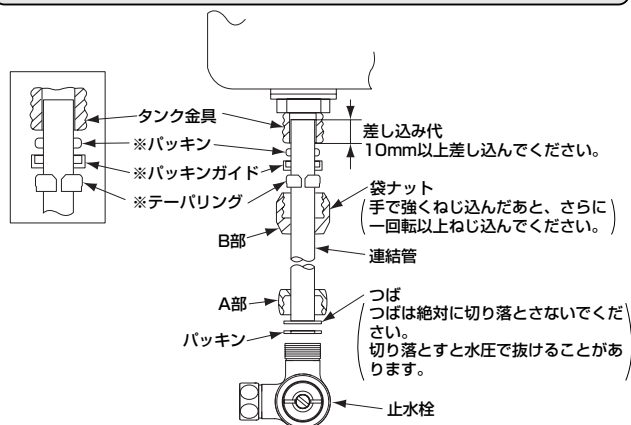
間違えると水漏れすることがあります。

②A部を先に固定したあと、B部を固定する。

注意

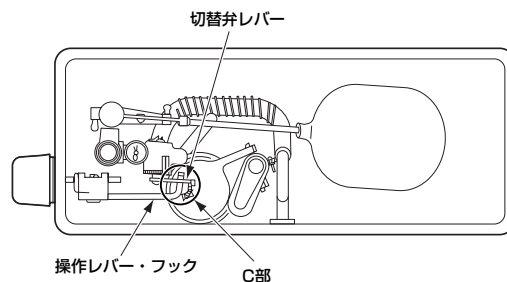
B部の袋ナットを締め付けるときは、ボールタップが共回りしないよう保持して締め付けてください。

操作レバーのフックと切替弁レバーとの重なり代が少ないと作動不良になることがあります。



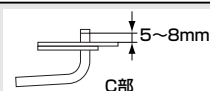
2-2 タンクと止水栓の接続（つづき）

〈ボールタップ取り付け状態〉



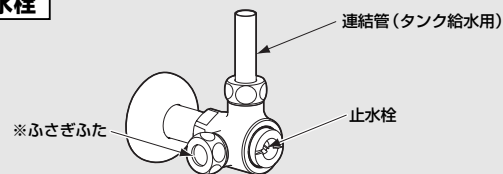
注意

施工完了後に操作レバーのフックと切替弁レバーとの重なり代(C部)を5～8mmとなるように取り付けてください。



注意

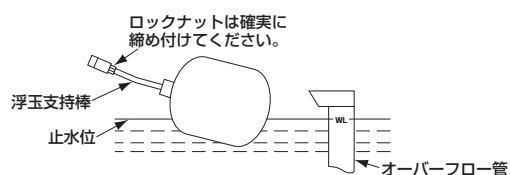
止水栓



※ふさぎふたの部分は、ウォシュレットをセットするときの接続口になります。ウォシュレットをセットしないときは、取り付けたまにしておいてください。

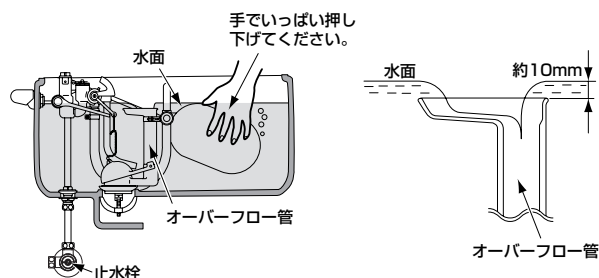
3 止水位の調節

タンクの止水位がオーバーフロー管のWL（標準水位）の表示に合うように、浮玉支持棒の中央部を曲げて調節してください。



4 止水栓の調節

浮玉を押し下げて、止水栓を徐々に開いてください。この状態で水面がオーバーフロー管より10mm以上上昇しない程度に止水栓の開きを調節してください。この調節をしておけば、万一、ボールタップが故障しても、タンクの水が外にあふれることはありませんし、給水音も低くなります。



5 取り付け完了後の確認

取り付け完了後は2～3度操作して正常に作動するか確認してください。

※商品によっては、説明書の絵と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。